

原告意見陳述書

2023年10月24日

原告 須永知男

1. はじめに

第1回口頭弁論の折にも発言の機会を頂戴しました。その時には、主に航空機騒音による被害について述べました。更新弁論に当たり、航空機からの落下物の危険について陳述させていただきます。

2. 落下物の危険が現実～氷解落下

訴状で私たちは、羽田新ルートによって都心を飛行することになった航空機からの落下物の危険について主張しました。その時点では危険、にとどまるものでしたが、その後、その危険が現実化することがおこりました。

甲98号証として既に、[REDACTED]さんからの報告書を裁判所へ提出済みですが、被告からはこの司法の場で何の説明も諾否すらありません。[REDACTED]さんから直接状況を聞き取った一人として、この場で陳述します。

3. 氷解落下調査の経緯

- (1) 2022年3月13日、渋谷区[REDACTED]—[REDACTED]—[REDACTED]テニスクラブ[REDACTED]の第二コート付近に氷塊が落下しました。航空機通過音の30秒程度後、ドスンと音がして、振り返るといくつかに割れておりその一つはテニスコートの細いライン幅と同程度、直径5cmであった、と聞きました。

氷はカチカチであり商業ベースでは見たことも無い形状、固さを感じるもの、と聞きました。スマホを取りに行き、撮影した時刻は午後3時33分、と聞き

ました。

当日は晴天で、写真に人影が映り、東京で雹が降ったとの気象庁データも SNS 情報もありません。

コートの上には新国立劇場があり通路がありますが、氷塊を投げ込んで届く距離ではなく、また事象発生当時、人影もなかった、とも言います。

■さんは第三コートでプレイも終えたところであり、第二コートでプレイしていた人はいなく、もしプレイしておりこの氷塊が頭に当たれば生き死にの問題になっていた、と聞きます。

(2) ■さんはご友人に相談し、ご友人が渋谷区議会自民党幹事長へ連絡、幹事長は「懸念していたことが起きた、取り上げます」と答え、区担当職員から国交省へ連絡がなされました。渋谷区議会は2021年10月13日「羽田新ルートの運用停止を国に求める意見書」を自民党、公明党も含めた全会一致で採択しており、それでも運用を続けている状況での氷塊落下があった訳ですから。自民党幹事長のコメントは当然の結果と考えることができます。

航空局が知ったのは、少なくとも発生の十数時間後、また現地で通報者に会ったのは数日後です。航空局の役人は予定航路から400m離れていると説明、その後■さんからの指摘でこれを350mに訂正した経緯がある、と聞きます。

しかし、後日国会議員と一緒に私は現場に立ち、当日の飛行機を見た全員は、ほぼ真上を飛んでいるとの印象を持ちました。国交省は、当日午後3時35分羽田着予定のデルタ航空A350が飛んだことを認めています。

また、このテニスコートは高層ビルや高速道路に囲まれ、ビル風が強いところではあります。

航空局は350m 離れていること、航空会社に問い合わせしたが異常報告がなかったことを理由に更なる綿密な調査をしてないようです。新聞報道によれば、

車輸出し位置も公表しないそうです。

航空局官僚はマスコミの前では「丁寧な説明をします」を繰り返します。

しかし、丁寧な姿勢が全くない、と私は受け取ります。

疑われているのですから、国交省は関連の研究機関を使い、あらゆるシミュレーションにより緻密に調査は出来るはずです。新飛行ルートからの氷塊はデニスコート第二面そばに絶対に落ちない、との説明立証をすべきです。

人を殺傷する危険がある氷塊が人口密集地に落ちてもその状況を放置する、これは国家としてあるまじき姿ではないでしょうか？

4. 国会論議で明らかになった重量部品欠落の事実

2023年4月26日衆議院国土交通委員会で落下物について重大なことが明らかになりました。議事録が確定してから証拠提出の予定ですが、重量のある部品落下として、2020年には、97キロ、83キロといったエンジン部品が、2021年には75キロの主脚タイヤ、60キロのフェアリング（空気抵抗を減らすためにつける覆い部品）を欠落している事実があります。

斉藤大臣は世界で例を見ない基準である落下物対策を18年3月から強化と答弁していますが、この対策強化後の部品欠落の事実です。

これ以上対策を強化しようがあるのでしょうか？ 100kgに近い物が、都心に落ちる、川崎の石油コンビナートに落ちる、殿町地区にある東芝の原子力臨界施設（解体作業中）を直撃する。危険性を一切否定できないわけです。陸上で部品がただ発見されていないだけです。想像しただけで身の毛がよだちます。

裁判官のみなさま、1日も早く羽田新ルートの運用を止めるべくご判断下さい。私達の魂からのお願いです。